

創刊にあたって(『子どもと福祉』編集委員会)

◎特集 児童養護施設における心理職の役割——現場職員との連携のあり方をめぐって
特集にあたって(二宮直樹:本誌編集委員)

○座談会 心理職として働いて——児童養護施設の現場から見えてくるもの
伊東奈穂(日本児童育成園、子ども家庭支援センター・ぎふ「はこぶね」)
大谷基恵(名古屋市児童福祉センター)
小池純代(名古屋養育院)
廣藤稚子(都筑こども相談室)

○児丘養護施設の現場から
生活につなぐ心理支援とは——那爛陀学苑の取り組みから(小林茂:浦河べてるの家支援員)
筑波愛児園の再生と心理職——権利侵害事件からの5年間(立川弘司:筑波愛児園心理療法担当職員)
心理職はどう連携するか——専門職として、一職員として(小池純代:名古屋養育院心理療法担当職員)
心理職との連携と協働を考える——児童指導員から期待すること(伊藤龍仁:那爛陀学苑主任児童指導員)
児童の社会的自立に向けた心理的ケア——要養護児童特有のニーズに向けて(早川悟司:目黒若葉寮主任)
心理的ケアの課題と新たなニーズ——子どもが安心できる生活づくりのために(高橋朝子:調布学園児童指導員)

○まとめと課題

児童養護施設における心理職——児童相談所心理職の立場から(二宮直樹:愛知県知多児童・障害者相談センター主任主査)
児童養護施設心理職の今後——愛知・岐阜両県での調査から考える(吉村譲:愛知東邦大学人間学部講師)

◎制度と現場のはざまで

現代の子ども・家族問題の焦点(川崎二三彦)
現代の子どもと児童相談所の動向(佐藤隆司)
現代の子どもと児童養護施設の動向——施設の小規模化に潜む問題(浅倉恵一)
現代の子どもと少年法改正の動向——現代型非行の調査の在り方(山田麻紗子)

○当事者の語り

居場所をなくす不安と闘いながら(小林大)
いつも子どもたちの目線で(清水真一)
自立援助ホーム「ふきのとう」と私(澤田正一)

○研究報告

児童家庭相談におけるソーシャルワークモデル(竹中哲夫)
児童養護問題の構造と子育て世帯との共通性——児童養護施設5カ所の実態調査から(堀場純矢)

子ども虐待死の検証に関する考察——先行研究の到達点と今後の課題(加藤悦子)

○現場実践レポート

取手児童虐待事件のもたらしたもの(岡田崇弘)

児童虐待の現場から(北川拓)

乳児院の家庭支援専門相談員の役割(窪田道子)

親子だからできる支援——母子生活支援施設での取り組み(加藤智功)

○エッセイ

私の子育て支援(蜂谷明子)

ある日の児童福祉司(川松亮)

「彼」と私(倉橋幸彦)

○書評

『林先生に伝えたいこと』(永山友里江)

『てぶくろ——ウクライナ民話』(畑井田泰司)

『怒りの方法』(都筑基史)

『ぼくたちの15歳——養施設児童の高校進学問題』(遠藤由美)

『子どもとマスターする50の権利学習——イラスト版子どもの権利』(遠藤由美)

『エピソード記述入門——実践と質的研究のために』(千坂克馬)

○海外の社会福祉事情〈第1回〉

中国の一人っ子政策とお国柄(野田正人)

児童養護・児童相談に関する新刊リスト

全国児童養設問題研究会(養問研)のご案内

全国児童相談研究会(児相研)のご案内

『日本の児童福祉』バックナンバー

編集後記・次号予告